文章資料　3部

イエズス会宣教師が記した日本の風土（17世紀初頭）(p.140)

日本の国土には多くの鉱山があって、あらゆる種類の金属を産出する。…主要なものは全土にある銀山であって、中国の石見の国、北の海にある佐渡島、その他多くの地にある金山というのがそれである。…

〈ジョアン＝ロドリーゲス著　土井忠生・浜口乃二雄ら訳『日本教会史』〉

刀狩令(p.145)

一　諸国百姓等、刀・わきさし・弓・鑓・鉄炮・其外武具のたくひ所持候事、かたく御停止候、其子細ハ、入ざるたうくあひたくはへ、年貢所当を難渋せしめ、一揆を企、自然給人❶に対し非儀之動をなす族、勿論御成敗あるへし、…

一　百姓ハ農具さへもち、耕作を専に仕候へハ、子々孫々まて長久に候、百姓御あはれミを以、此の如く仰せ出され候、誠国土安全万民快楽の基也、…

〈『島津家文書』〉

注　❶給人：大名に服属し家臣化した在地の支配者

現代語訳

一つ、諸国の百姓たちが、刀・脇差・弓・槍・鉄砲、そのほかの武具類を所持することは、固く禁止する。その理由は、農耕に不要な武具を持ち、年貢の納入を妨げたり、一揆を企てたり、場合によっては給人（大名に属する在地の支配者）に対して道理に反する行動をとる者は、当然、厳しく処罰されるべきであり…

一つ、百姓は農具だけを持ち、農作業に専念していれば、子々孫々に至るまで安泰に暮らすことができ、百姓にあわれみをもって、このような命令が出されたのであり、まことに国土を安定させ、万民を幸福にする根本である、…

バテレン追放令(p.146)

一　日本ハ神国たる処、きりしたん国より邪法を授け候儀、太だ以って然るべからず候事、

一　其国郡の者を近付け、門徒になし、神社仏閣を打破るの由、前代未聞に候。…

一　伴天連❶其知恵の法を以って、心ざし次第ニ檀那を持ち候と思し召し候へバ、右の如く日域の仏法を相破る事、曲事に候条、伴天連の儀、日本の地ニハおかせられ間敷候間、今日より廿日の間に用意仕り帰国すべく候、…

一　自今以後、仏法のさまたげを成さざる輩ハ、商人の儀ハ申すに及ばず、いづれにても

きりしたん国より往還くるしからず候条、其の意を成すべき事、

《『松浦家文書』》

注　❶伴天連：外国人宣教師。パードレ（神父）の当て字

現代語訳

一つ、日本は神々の国であるのに、キリシタン国から邪悪な教えを伝えることは、まことに許されないことである、

一つ、自身の領地の国郡の者に奨めて信徒とし、神社や仏閣を打ち壊すというのは、前代未聞のことである。…

一つ、キリシタン宣教師は、その教義や知識によって人々の心を引き寄せ、自らの意思で信者になっていると思われていたが、右のように日本の仏法を破壊したりしている。これは不届きな行いであるので、キリシタン宣教師は日本の地に置くことはできない。よって、今日から二十日のうちに準備をして帰国するようにせよ、…

一つ、今後は仏法の妨げをしない者であれば、商人は言うまでもなく、誰であってもキリシタン国との往来は差し支えないので、そのように心得るべきである、

武家諸法度(元和令)(p.148)

一　文武弓馬の道、専ら相嗜むべき事、…

一　群飲佚游❶を制すべき事、…

一　法度を背く輩、国々に隠し置くべからざる事、…

一　諸国の居城、修補をなすと雖も、必ず言上すべし。況んや新儀の構営❷堅く停止せしむる事、…

一　私に婚姻を締ぶべからざる事、…

《『御触書寛保集成』》

注　❶群飲佚游：酒宴や遊興　❷新儀の構営：新しく城をつくること

現代語訳

一つ、文武・弓馬の道を、もっぱら修めるべきこと、…

一つ、酒宴や遊興にふけるのを禁止すること、…

一つ、法度に背いた者を、諸国にかくまってはならないこと、…

一つ、諸国の城については、修理を行う場合であっても必ず届け出ること。まして、新たに城を築くことは、固く禁止すること、…

一つ、私的に婚姻を結んではならないこと、…

毛利家への「一国一城令」(p.148)

…貴殿御分国❶中の居城をば残し置かれ、其外の城は、ことごとく破却これあるべし…

《『毛利家文書』》

注　❶分国：戦国大名の領地（→１３３ページ）。この時の毛利家の分国は長門国と周防国

現代語訳

…あなたの領国の中では、居城一つだけを残し、そのほかの城はすべて打ちこわすよう…

ルイス＝フロイスが記した織田信長と安土城(p.150)

彼は都から十四里の近江の国の安土山という山に、その時代までに日本で建てられたもののなかでもっとも壮麗だといわれる七層の城と宮殿を建築した。…運び上げるのに四、五千人を必要とする石も数個あり、…我らヨーロッパの石造建築を眺めるのとほとんどなんら異ならないほど堅固に、そして豪華にできている。…宮殿や広間の豪華さ、窓の美しさ、内部で光彩を放っている金、赤く漆で塗られた木柱とすべて塗金した他の柱の数々…人々が確言するところによれば、彼は…もっとも富み、かつ強大な人物であった。…多量に所有する金銀以外に、…インドの高価な品、シナの珍品、朝鮮および遠隔の地方からの美しい品々は、ほとんどすべて彼の掌中に帰したからである。…茶の湯の道具は、日本では、我らの許における宝石のような価格、価値、貴重さを有し、…すべての美しく珍しい品々、彼はそれらすべてが集まる中心点であった。

〈松田毅一・川崎桃太訳『完訳フロイス日本史2』現代語訳〉

家康の甥が土佐藩主　山内氏へ送った書状（一六二〇年）(p.155)

…当時之御奉公者、か様御普請已下之砌、御目見立候と聞申候間、少も少も無御油断様ニ御沙汰専一存候、委細之儀者、内匠殿・豆州可被仰進候間、不能具候、恐惶謹言

現代語訳

…現代の御奉公は、このように幕府の普請などに参加する際に、将軍のお目に留まると聞いているので、少しも油断しないように、家臣たちにも伝えることが一番です。

〈『大日本史料』より要約〉

江戸城築城の福井藩の記録（一六二九年）(p.155)

現代語訳

…自分たちは、石を運ぶために江戸の材木を買い占めて、少ない人員で石を運べたが、熊本藩加藤家は、材木の調達がうまくいかず、人を大勢やとって、人海戦術で藩主みずから音頭をとってみたが、かえって人が多すぎて失敗し、死傷者がでて、運送中に誤って民家を壊すことがよくあった。７、８割できた時、加藤家はまだ1段しか積めていなかった。こちらはうまく梁をたてながら効率よく石垣を積み、きれいにできた。

〈『国事叢記』より要約〉

豊前小倉藩主 細川氏から、筑後柳川藩主 立花氏への書状（一六三四年）(p.155)

関東衆・奥州・信濃筋を堀、西國上方衆は石垣之由、被仰出候通、得其意存候、冤角日本之草臥は止申間敷候、面々に手前之分別可友儀と存計候事、

現代語訳

（江戸城について、）関東・東北・信濃の大名たちは堀、西国や上方の大名たちは石垣を担当すると、幕府から通達があったと了解いたしました。とにかく日本全体が「くたびれ」てしまうことが止まりません。それぞれの大名が自分の考えで行うべきかと思います。

〈『細川家史料』より要約〉

薩摩藩が琉球王国へ指示した、外国船漂着時の対応(p.156)

一、大和船繋居候港近江漂流候は、早速見隠成所江引廻可申事

一、大和年号又者大和人名書等漂着人江見せ申間敷事

一、漂着場付近より大哥不仕様堅可申付事

〈新城敏男訳『石垣市史叢書４』〉

現代語訳

一、大和船を係留している港近くに漂流したならば、すぐ（大和船を）見えない所へ回航すること。

一、日本年号または日本人の名を書いたものなどを漂着人に見せてはならない。

一、漂着場の近辺で大和歌を歌わないよう厳重に申しつけること。

幕府から薩摩藩主へ出された書状(p.156)

一筆申入候、従れ大明琉球江は、従此以前通用これ有りの事候間、大明の様子知り候義

もこれ有るべく候、たとひ風説等成れ共承られ候はば、其の趣具に書注し御越有るべく候、其の為此の如く候、恐惶謹言

〈『薩摩旧記雑録』現代語訳〉

現代語訳

琉球では中国の様子が知られているだろうから、うわさ程度でもかまわないので、それを薩摩から幕府に伝えるようにしなさい。

薩摩藩から琉球王国への書状（一六三二年）(p.156)

御借銀七千貫目余御座候、琉球口より唐之才覚ならては、御返弁不罷成相究候条、其御分別毛頭御油断被成ましき由…王舅國頭親方、太夫喜友石親方被差渡、唐にても御侘あるへき由候事、

一、三年一度之進貢之事、
一、毎年年頭之御禮之事、
一、馬硫磺相重之事、
一、毎年　御誕生御祝言可被申せ之事、
一、やこ貝之から毎年積渡進上之事、

〈『薩藩旧記雑録』現代語訳　一部要約〉

注　❶借銀：借金のこと。薩摩藩をはじめ江戸時代の諸藩は、藩政運営などのため、商人から借金を行っていた　❷唐の才覚：ここでは琉球による中国への朝貢貿易を指す

現代語訳

薩摩の借銀❶は七千貫目以上ある。琉球からの唐の才覚❷がなくては返済ができないので、そのことをしっかりわきまえ、油断のないようにすること。…琉球の官人を中国に派遣して、次のことを認めてもらうように嘆願すること。

一、三年に一回の朝貢。
一、毎年、年頭のあいさつのために使者を送ること。
一、朝貢の品として持参する、馬と硫黄の量を増やすこと。
一、毎年、皇帝の誕生日のお祝いを述べるために使者を送ること。
一、夜光貝の殻を毎年、進上すること。

琉球王国の高官が、これから中国に渡航する官人に送った書状（一八四〇年）(p.157)

可成程毎歳表意貢物被差上猶々為蒙　御徳化御國政目出度被召行度との　御本意我々も

本願事候處四年一貢相成候自ら沐　御徳化候儀遠可成行…御國許御當地御用物も是迄之様不相調世上にも必至と差支に相成事にて旁以國士之難題に相成事候条件之趣深得其意渡唐之上は早遠御願之咨文差出向々御内意等申上御願詮立候様精々可被相働候

〈『鄭氏家譜』現代語訳〉

現代語訳

私達の国では…できれば毎年、表文と貢ぎ物を差し上げ、徳化を受けることで、国内の政治をしっかり行いたいと、国王も私どもも思っている。それが四年に一回の朝貢となってしまっては、徳化を受けることが難しくなってしまう。…薩摩が必要としている品、琉球が必要としている品もこれまでのように調達することができなくなり…困難な事態となるだろう。そのことをよく心得て、渡唐したら早速、朝貢の頻度についての嘆願の文書を（中国側に）差し出し、願いを認めてもらえるよう努めなさい。

琉球使節を見物した人がよんだ和歌(p.157)

うるまがた　五百重の波の　よそなれど　貢の道は　隔ざりけり

〈『貢の八十船』〉

現代語訳

琉球ははるか遠く離れた海の向こうだが、その遠さにも関わらず日本に貢ぎ物を持って来るのだなあ。

『伊勢詣の日記』序文(p.158)

み子たちも多くて　手さわさいとなみもしげければ　宮寺に詣するもこころにまかせず少しも静にいとまある時は　名所図絵なといふ文くり返してその所にあそふのおもひをなせり…百里をへたてし旅路の　ことさら女子の身なれは　身にかなひたる道つれのあらてはおもひくわ立かたく　とにもかくにも女子の身のこころにおもふのみにて　かなはぬ事そ多かる世のならひなりとくわんしくらしぬ

現代語訳

…子どもたちも多く、手仕事や家事も多いので…少しでも静かな空き時間のある時は、名所図会などという本を繰り返し読み、その名所で過ごしている自分を想像した。…

…旅路は遥かに長く、そのうえ女子の身なので、一人で旅行に出ることは難しい。とにもかくにも女子の身なので、心で願うのみで、願いはかなわないことが多いのが世の常なのだ、と感じて暮らしていた。…

女子用の教訓書『女大学』(p.158)

夫を主君と思ひ、敬ひ愼みて事ふべし。輕しめ侮るべからず。惣じて、婦人の道は、人に從ふに在り。夫に對するに、顔色、詞づかひ、慇懃に謙り、和順なるべし。…女は、夫を以て天こす。夫に逆らひて、天の罰を受くべからず。

現代語訳

…夫を主君と思って、敬い慎んで仕えること。軽んじたり侮ったりしてはならない。総じて、女の道は、人に従うことにある。夫に対する時は、顔色と言葉遣いを、丁寧にへりくだって、穏やかでいること。…女は夫を天とするものである。夫に逆らって、天罰を受けてはならない。

『伊勢詣の日記』箱根近辺(p.159)

同十六日　是より箱根也とてみなみないさむ…めつらしき山川なりとおもふ…箱根御番所にかかりて　御あらため手形なとにてひさしく手間とれり　山中かぶと石と云処の茶店にてみなみな休ふ…此処より三島へ下るにはさかもなだらかにて　人馬ともかよひ安し三島にやとりをとる　宿や家名はわすれたり

現代語訳

〔3月16日　箱根〕

ここから箱根の峠だと皆が意気込んでいる。…（塔の沢付近は）珍しい山川だと思う。…

箱根の関所にかかって、手形の改めなどにたいそう手間取った。…山中、かぶと石という所の茶店で、多くの人が休んでいた。…

ここから三島に下るには、坂もなだらかで、人も馬も通いやすい。三島で宿泊した。宿屋の名前は忘れた。

『伊勢詣の日記』伊勢参詣(p.159)

同二日　御宮詣てせんとて出る…けふ此御社に詣る事も当主のこころよくゆるし　還の旅路の費用だにこころにかかる隈なくものし給ひぬるそうれしき　たた中村氏の御用のつつがなく　子孫の繁栄家従の繁昌とりとりねき奉りぬ…

同三日　けふ浅間山へ詣んとて…山のうへには　…弁当酒肴とり揃へ待出てちそう多し

同五日　買物なとそろへ　江戸へのおくり物しらべて　此処立したく用意とりとりなり

現代語訳

〔4月2日　伊勢〕…今日伊勢神宮に参詣できていることも、当主が快く許し、旅の費用を惜しまず出してくれたからで、うれしいことだ。ただただ、中村家の子孫の繁栄と仕事の繁盛などを願い奉った。…

〔4月3日　伊勢〕朝熊山へ詣でようと皆で肩輿で行った。山上には…弁当や酒などがたくさん取りそろえられていた。…

〔4月5日　伊勢〕買物などをそろえて、江戸への土産物を確認し、ここを出発する準備をあれこれ行った。…

『伊勢詣の日記』大坂から船旅へ(p.159)

同廿日　皆々一同にいふ　是まて来りつれはさぬきへ渡り金毘羅参詣せむと云　さらは今夜より船に乗るべしとて　昼のうちは角の芝居見物にとすすめられて桟敷かり皆々行

同廿五日　まるかめにつきて金毘羅に詣るなり…大師善通寺　屏風浦なとなかめ…大黒屋といふに二夜とまれり

五月朔日　此処には清盛公の御墓有　船中より見あける…

同三日　町なみはことの外にきやかにて　江戸の油見世などのことくりっはなり…錦台橋は浅草の観音堂にかけたる額の画図のごとく　あの図を見れはかはれることなし

現代語訳

〔4月20日　大坂〕皆が一同に言う、ここまで来たのだから、讃岐に渡って金毘羅参詣をしよう、と。今夜から船に乗ることにし、昼は角の芝居を見物するとよいと勧められ、皆で行った。芝翫の引退舞台で繁盛していた…

〔4月25日　讃岐〕丸亀に着いて金毘羅に詣でた。…弘法大師の善通寺や屏風ヶ浦なども眺め…大黒屋という宿に二夜泊まった。

〔5月1日　宮島周辺〕ここには清盛公のお墓がある。船の中から見上げる。…

〔5月3日　岩国〕…（岩国の）町並みは…江戸の化粧品屋などのように立派だ。…（名所の）錦帯橋は、浅草の観音堂にかかっている額の絵と同じだった。…

禁中並公家諸法度(p.163)

一　天子諸芸能の事、第一御学問也、…

一　武家の官位は、公家当官の外たるべき事、…

一　関白・伝奏并奉行職事等申渡す儀、堂上地下の輩❶、相背くにおひては、流罪たるべき事、

一　紫衣の寺住持職、先規希有の事也、近年猥りに勅許の事…甚だ然るべからず、…

《『徳川禁令考』》

注　❶堂上地下の輩：公家には上級の堂上家・下級の地下家という区分があり、その双方を指す

現代語訳

一つ、天皇にとって諸芸能のことで最も大切なのは学問である、…

一つ、武家に与えられる官位は、原則として、公家が現に就いている官職の範囲外とすること、…

一つ、関白・伝奏・奉行などの職務について申し渡されたことに背いた公家は流罪とすること、…

一つ、紫衣を許される寺院の住持職は、本来きわめて例の少ないものであり、近年、むやみに勅許が出されているが、きわめて不適切である、…

オランダ商館長が1640年ごろ記した日本の姿(p.165)

日本で行われている貿易は、外国の人々によって担われているのだが、国土が広い割には少ない。それは、この土地が、ほとんどあらゆる産物を自分たちで有しているからである。…（日本に）毎年のように手広く商品を市場にもたらす交易をするのは、第一に中国人である。彼らは日本の国が始まった当初から今日に至るまで行い、スペイン人、ポルトガル人は１００年以上行い、イギリス人はそれより遅かった。…最後にオランダ人がやってきて、確たる地位を得て、約40年間貿易を行っている。

《『世界史史料 12』》

寛永十(一六三三)年の禁令　(p.166)

一　異国え奉書船の外、舟遣し候儀堅く停止の事。

一　異国え渡り住宅これある日本人来り候はば、死罪申し付くべく候。但し…五年より内に罷り帰り候ふものは…日本にとまり申すべきにつきては御免、併し異国えまた立ち帰るべきにおゐては死罪申し付くべく候事。

《『徳川禁令考』》

寛永十二(一六三五)年の禁令

一　異国え日本の船之を遣すの儀堅く停止の事。

一　日本人異国え遣し申間敷候。…

一　異国え渡り住宅仕り之有る日本人来り候ハバ死罪申付くべき事。

《『徳川禁令考』》

寛永十六(一六三九)年の禁令

…自今以後かれうた❶渡海之儀これを停止せられをはんぬ。此上若し差渡ニおゐては其船を破却し、ならびに乗来る者速に斬罪に処せらるべきの旨、仰せ出さるる所也。

《『徳川禁令考』》

注 ❶かれうた：ここではポルトガル船全般を指す。ポルトガル人が活用していた帆船ガレウタ（ガレオン船の小型版）に由来

現代語訳

寛永十年(一六三三年)の禁令

一つ、奉書船以外の船を、外国へ派遣することを固く禁止する。

一つ、外国へ渡って住み着いている日本人が帰国した場合は、死罪に処する。ただし…渡航してから五年以内に帰国した者については…日本にとどまることを許す。しかし、再び外国へ渡ろうとする場合には、死罪に処する。

寛永十二年(一六三五年)の禁令

一つ、日本の船を外国へ派遣することを、固く禁止する。

一つ、日本人を外国へ渡航させてはならない。

一つ、外国へ渡って住み着いている日本人が帰国した場合には、死罪に処する。

寛永十六年(一六三九年)の禁令

…今後はこれから先、ポルトガル船による海外渡航はすべて停止する。この命令の後、もし密かに渡海しようとする者がいた場合には、その船は破壊し、あわせて乗ってきた者は速やかに斬罪に処すという趣旨で、命令が下されたものである。

おもろさうし (p.169)

地天鳴響む大主
にるやせぢ　知らたる
せぢや　遣り
大和島　治め

（９７歌　部分）

現代語訳

国王は
ニライカナイの霊力をもって　知られている

その霊力を遣わして
大和の島を平定せよ

一六四三年に代官へ出された指示(p.172)

田畑永代売買禁止令

一　身上能百姓は田地を買取、弥宜成、身体成らざる者は田畑沽却せしめ、猶々身上成るべからざるの間、向後田畠売買停止たるべき事、

生活などに関する禁令

一　百姓の衣類此以前より御法度の如く、庄屋は妻子共絹・紬布・木綿、脇百姓は布・木綿ばかり之を着す可し、此外はえ（ゑ）り帯等にもいたし申すまじき事、

一　百姓の食物常々雑穀を用べし、八木（米）は猥に食はざる様に申し聞かすべき事。

一　在々所々にて、饂飩・切麦・素麺・蕎麦切・饅頭・豆腐以下、五穀の費に成候間、商売無用の事、

一　五穀の費に成候間、たばこの儀、当年より本田畑新田畠共、一切つくる間舗事、

《『御触書寛保集成』》

現代語訳

一つ、家計に余裕のある百姓は田地を買い取って適切な状況にしていく。体が不自由なものには田畑を売却させよ。なお、身分相応でないものは今後は田畑の売買を禁止する、

一つ、百姓の衣類については、これまでの禁令どおりとする。庄屋は、妻子ともに絹・紬・木綿の着用を許すが、脇百姓は布および木綿のみを着るべきである。これ以外のものは、襟や帯に至るまで一切身につけてはならない、

一つ、百姓の食事は、日常的には雑穀を用いるべきであり、米をむやみに食べないよう、言い聞かせること。

一つ、村々・各地において、うどん、切麦、そうめん、そば切り、まんじゅう、豆腐以外の商売は、五穀を無駄に費やすことになるため、営業してはならない、

一つ、同じく五穀を浪費することになるため、たばこの栽培は、今年より本田・畑・新田・新畑の別なく、一切これを作ってはならない、

由井(比)正雪の遺書(一六五一年)(p.175)

今度…私反逆致し候様、聞召し入れらるる段、最も此有るべき儀に存じ奉り候。併し私体如何四代の天下❶乱破せしむる事、叶ふべき儀これ無く候。然れ共、天下の制法無道に

して上下困窮仕る事、心有る者、誰か之を悲しまざる哉。

《『薩藩旧記雑録』》

注 ❶四代の天下：四代将軍綱吉の治世下

現代語訳

今回、私が反逆を企てたとお聞き及びになることは、もっともなことであろうと存じます。しかしながら、私のような者が、四代将軍の治める天下を乱すことなど、到底できるはずがありません。とはいえ、天下の法や政治が道理に外れ、身分の上下を問わず人々が困窮している現状を、志ある者であれば、誰が悲しまないでしょうか。

武家諸法度(天和令)(p.176)

一、文武忠孝を励し、礼儀を正すべき事…

一、養子は同姓相応の者を撰び、若之無きにおいては、由緒を正し、存生の内言上致すべし、五拾以上十七以下の輩❶末期に及び養子致すと雖も、吟味の上之を立つべし、…

附、殉死の儀、弥制禁せしむる事。

《『御触書寛保集成』》

注 ❶五拾以上十七以下の輩：五十歳以上や十七歳以下の大名

現代語訳

一つ、学問、武芸、主君に尽くし、親に孝行し、礼儀を正すこと…

一つ、養子を迎える場合は、同じ姓で身分相応の者を選ぶべきである。もし適当な者がいない場合には、家の由緒を明らかにしたうえで、当主が生きているうちに幕府へ申し出ること。五十歳以上または十七歳以下の大名が、死に際して養子をとった場合であっても、内容を吟味したうえで認めないことがある、…

追記、殉死は禁止する。

生類憐みの令(p.176)

一、捨子これ有り候ハバ、早速届けるに及ばず、其の所の者いたハり置き、直ニ養ひ候か、又ハ望みの者これ有り候ハバ、遣はすべく候、…

一、主無き犬頃日ハ食物給させ申さず候やうに相聞え候、畢竟❶食物給させ候えハ、その人の犬の様に罷り成り、以後まで六ヶ敷事と存じ、いたハり申さずと相聞え、不届きに候、向後左様これ無き様相心得べき事、…

一、犬計に限らず、惣て生類❷、人々慈悲の心を本といたし、あハれミ候儀肝要の事、

《『御当家令条』》

注　❶畢竟：最終的に　❷生類：生きもの

現代語訳

一つ、捨て子があった場合には、ただちに届け出る必要はなく、まずはその場所の人々が世話をしておき、自分で育ててもよいし、希望する者がいればその者に引き取らせること、…

一つ、最近、飼い主のいない犬に食べ物を与えないという話が聞こえてくるが、それはまったくの誤りである、最終的には、食べ物を与えなければ、その犬はその人の飼い犬のようについて回ることになり、後々まで面倒な問題になると思い、世話をしないのだと聞くが、これは不届きである、今後は、そのようなことが決してないよう、心得るべきことである、…

一つ、犬だけに限らず、すべての生き物について、人々は慈悲の心を基本とし、命をあわれみ大切にすることが肝要であること、

『農業全書』(p.179)

第一巻　第一　耕作

…曰❶、晩稲の跡は春を待て耕すべし。其稲かぶくさらずしてかたき故、冬中くさらかしをき、春耕せば、牛のちから不入して犂やすし。…

第六巻　第一　木綿

木綿は…百年以前其たねを伝へ来たりて今普く広まれり。…作る法委しからざれば実りあしき物なるゆへ其事詳かに何れの農書にもしるしをけり。先種子をえらぶ事専一なり。…

注　❶曰：明の『農政全書』の記述。安貞は『農政全書』をもとに、自身の知見をあわせて執筆した

現代語訳

第一巻　第一　耕作

…中国・明代の『農政全書』にこう書かれている。晩稲を刈り取ったあとの田は、春を待ってから耕すのがよい。稲株はすぐには腐らず硬いため、冬の間中腐らせておき、春に耕せば、牛の力をあまり使わずに、鋤で耕しやすくなる。…

第六巻　第一　木綿

木綿は、今から百年ほど前にその種が伝えられ、現在では広く各地に普及している。…しかし、作り方が十分でなければ、収穫が悪い作物であるため、その点については、どの

農書にも詳しく書き記されている。まず何よりも、種子を選ぶことが最も重要である。…

『曽根崎心中』道行(p.184)

この世のなごり　夜もなごり
死にに行く身を　たとふれば
あだしが原❶の　道の霜
一足づつに　消えて行く
夢の夢こそ　あはれなれ…
身も世も思ふ　まゝならず
いつを今日とて　今日が日まで
心の伸びし　夜半もなく
思はぬ色❷に　苦しみに
どうした事の　縁ぢゃやら
忘るゝひまは　ないわいな
それに振捨て　行かうとは
やりゃしませぬぞ　手にかけて
殺しておいて　行かんせな
放ちはやらじと　泣きければ…

注　❶あだしが原：墓地　❷思はぬ色：思いもよらぬ色恋

現代語訳

この世への名残は尽きず、夜への名残も尽きない。
これから死に向かって行く自分たちの身をたとえるなら、
それは墓地へ続く道に降りた霜が、
一歩進むごとに消えていくようなものである。
はかない夢の中の夢こそ、なんとも哀れなものだ。
自分の身も、この世のあり方も、思うままにはならず、
「いつか」と思い続けているうちに、
今日こそがその日だと決めた今日まで、
心がのびのびと休まる夜は一度もなかった。
思いもよらぬ恋に悩まされ、
苦しみの中で、これはいったいどんな因縁なのだろうかと考え、
忘れようとしても、忘れるひまさえない。
それなのに、

「あなたを振り捨てて先に行こう」などとは、決してできない。
自分の手にかけて殺しておきながら、
どうしてそのまま放り出せるだろうか。
決して離しはしないと泣きながら訴えると――。

新田開発の奨励(p.188)

一七二二年七月の日本橋の高札

諸国御料所又は私領と入組候場所にても、新田ニ成るべき場所之有るにおいてハ、其所の御代官、地頭ならびに百姓申談、何も得心の上、新田取立候仕形、委細絵図書付にしるし、…願出ずべく候。…

一七二二年九月発布の法令

…いまだ開発仕らず之有り候場所の分ハ、山野又ハ芝地等或ハ海辺の出洲内川の類、新田畑ニ成るべき処は、公儀より開発仰せ付けられるべく候。…

《『御触書寛保集成』》

現代語訳

一七二二年七月の日本橋の高札

諸国の幕府直轄地や私領が入り組んでいる地域であっても、新田として開発できる場所がある場合には、その土地を管轄する代官・地頭および百姓が相談し合い、すべて納得したうえで、新田を開発する方法について、詳しい絵図や書付を作成し、…願い出ること。…

一七二二年九月発布の法令

…まだ開発されていない土地がある場合には、山野・原野・芝地、あるいは海辺の干潟や川の中州などで、新たな田畑となれる場所は、幕府が命じて開発させることとする。…

上米の制(p.189)

…御代々御沙汰の無き事ニ候得共、万石以上の面々より八木❶差上候様ニ仰せ付けらるべしと思召、左候ハねば御家人の内数百人、御扶持召放さるべきより外は之無く候故、御恥辱を顧みられず、仰せ出され候。高壱万石ニ付八木百石積り差し上げらるべく候。…之に依り在江戸半年充御免❷成され候間、緩々休息いたし候様ニ仰せ出され候。

《『御触書寛保集成』》

注 ❶八木：米のこと　❷在江戸半年充御免：参勤交代による江戸在府期間は一年が原則だが、それを半年としてよいこと

現代語訳

…これまで代々、このような命令は出されたことはなかったが、一万石以上の大名たちから米を差し出させるよう命じるのがよいとお考えになられた。そうしなければ、幕府は家臣数百人に対する扶持米を支給できなくなってしまうためそれ以外に方法がなかったのである。そのため、恥を忍んで、この命令を出されたのである。米の上納量は、石高一万石につき米百石の割合で差し出すこととする。…これにより、江戸在府の期間は半年でよいので、その間はゆっくりと休養するようにとの命令が下された。

十九世紀初頭の村の様子(p.190)

…上田といへるよき地所は皆福有等か所持となり、下田にして実入悪き地所のみ所持いたし、…又其悪田をも取失ひし族は小作のみを致し、…当世斯くの如く貧福偏り勝劣甚しく出来て、有徳人一人あれは其辺に困窮の百姓二十人も三十人も出来、…福有の威に吸取られ困窮のもの数多出来る也。

〈武陽隠士『世事見聞録』〉

現代語訳

…上田と呼ばれる条件のよい田地はすべて裕福な者が所有し、貧しい百姓は、下田で収穫の悪い土地だけを持たされている。…また、その悪田さえ失った者たちは、小作人として働くしかなくなって…近年では貧富の差がますます激しくなり、一人の富裕な者がいれば、その周囲には二十人、三十人もの困窮した百姓が生まれ…富者の力に吸い取られるようにして、貧しい者が数多く生まれているからである。

林子平『海国兵談』(p.192)

…長崎には厳重に石火矢の備有りて、却って阿房、相模の海港に其備なし、此事甚だ不審。細力に思へば江戸の日本橋より唐、阿蘭陀迄境なしの水路なり、然ルを此に備へずして長崎にのミ備ふルは何ぞや。

現代語訳

…長崎には厳重な大砲（石火矢）の備えがあるが、かえって阿房や相模の海港には、そのような防備がない。これは非常に不思議なことである。よく考えてみれば、江戸の日本橋から中国やオランダに至るまで、境目のない海路が続いている。それなのに、ここ（江戸周辺）には備えを置かず、長崎だけに備えるのはなぜなのか。

本多利明『経世秘策』(p.192)

…日本は海国なれば…万国へ船舶を遣りて、国用の要用たる産物、及び金銀銅を抜き取て日本へ入れ、国力を厚くすべきは海国具足の仕方なり。自国の力を以て治る計りにては…農民連年耗減するは自然の勢ひなり。

現代語訳

…日本は海に囲まれた国であるから…諸外国へ船を派遣し、国にとって必要な産物や金・銀・銅を取り入れて、国力を強めるべきである。これこそが、海国として本来あるべき政策である。自国の力だけで国を治めようとするなら、…農民が年々疲弊していくのは、避けられない成り行きである。

旧里帰農令(一七九〇年)(p.194)

在方より当地え出居候者、故郷え立帰りたく存じ候え共、路用金調ひ難く候か、立帰候ても夫食農具代など差支候ものは、町役人差添願出べく候。吟味の上夫々御手当下さるべく候。若…身寄の者之無く、田畑も所持致さず、故郷の外二ても百姓に成申度存候者は…手余地等之有る国々え差遣し、相応の田畑下さるべく候。…

《『御触書天保集成』》

現代語訳

農村から町へ出て暮らしている者で、故郷に帰りたいと望んでいるが、旅費が用意できなかったり、帰郷後の食料や農具の費用に困る者については、町役人が付き添って願い出ること。役人が調査した上で、それぞれに応じた支援を行うこととする。もし…身寄りもなく、田畑も持たないが、故郷以外の土地でも百姓になりたいと望む者については…耕作地に余裕のある国へ送り、相応の田畑を与えるものとする。…

寛政の改革を批判した狂歌(p.195)

白河の❶　清きに魚の　すみかねて　もとの濁りの　田沼こひしき
世の中に　蚊ほどうるさき　ものはなし　ぶんぶといふて　夜もねられず

注　❶白河の：松平定信が白河藩主であったこととかけている

現代語訳

白河のように「清すぎる政治」では、魚（人々）が住めず、むしろ以前の、少し濁ってい

た田沼政治の方が恋しい。
この世で蚊ほど煩わしいものはない。「文武だ、倹約だ」とうるさく言われて、夜も眠れない。

大黒屋光太夫からの聴取録『北槎聞略』(p.197)

（ペテルブルクで、ロシア人学士が）光太夫に日本の服をもちて学校に参るべしと云越たり。…諸生残らず呼集め日本の人を見るべしとて…訳を伝え、此方の風俗などを生徒等に語り聞せしとぞ。此学校に万国寄語の書あり。…（日本語は）以前此方より漂流せし者共に問て記せしよし。

現代語訳

ペテルブルクで、ロシア人の学者が光太夫に、日本の衣服を着て学校へ来るようにと言ってきた。…そして、学生たちを全員集め、日本人を見せようとし…通訳を通じて、日本の風俗などを学生たちに語らせたという。この学校には、世界各国の言語に関する書物があった。…日本語については、以前日本から漂流した人々に質問して記録したものだという。

『浮世風呂』朝湯より昼前のありさま(p.198)

…三ばん目の兄どのは又、合巻とやら申草双紙が出るたびに買ますが、葛籠にしっかり溜りました。ヤレ豊国が能のと、国貞も能のと、画工の名まで覚えまして、それはそれは今の子どもは巧者な事でございますよ…

現代語訳

…三番目の兄さんは、また、合巻という草双紙が出るたびに買い集めていて、葛籠にぎっしりたまっています。「豊国の絵がうまい」「国貞がうまい」などと、絵師の名前まで覚えていて、それはもう、今どきの子どもは専門家のようなものですよ。…

杉田玄白『蘭学事始』❶(一八一五年)(p.199)

…その初め、前野良沢、中川淳庵、翁と三人申し合はせ、かりそめに思ひつきしこと、五十年に近き年月を経て、この学海内に及び、そこかしこと四方に流布し、年毎に訳説の書も出づるやうに聞けり。…今の如くに開くることを聞くなりと、一たびは喜び、一たびは驚きぬ。…

注　❶『蘭学事始』：『解体新書』翻訳時の苦労などを記した玄白の回顧録

現代語訳

…学問を始めた当初、前野良沢・中川淳庵・私の三人で相談し、ほんの思いつきで始めたことが、五十年近い歳月を経て、この学問が国内に広まり、あちこちに伝わり、毎年のように翻訳書や解説書が出ていると聞く。…今のように学問が大きく発展していると聞き、あるときは喜び、またあるときは驚かされた…

本居宣長が詠んだ歌(p.199)

しき嶋の　やまとごころを　人とはば　朝日ににほふ　山ざくら花

現代語訳

日本人の心とは何かと問われれば、朝日に照り咲く山桜の美しさを知り、そのうるわしさに感動する、そのような心です。

大塩平八郎の檄文❶(p.204)

此節は米価弥々高値に相成り、大坂の奉行並諸役人共、万物一体の仁❷を忘れ、得手勝手の政道を致し、…此度、有志の者と申合せ、下民を悩し苦しめ候役人共を先づ誅伐いたし、引続き驕に長じ居候大坂市中金持の町人共を誅戮❸に及び申す可く候間、…

《『徳川禁令考』》

注　❶檄文：自分の主張を述べて人々に行動をうながす文書　❷万物一体の仁：万すべてのものをいつくしむ「仁」は儒教の考え方の基本。この仁の実践により万物が調和するという考え方　❸誅戮：罪を責めて殺すこと

現代語訳

近ごろは米の値段がますます高くなり、大坂の奉行や諸役人たちは、万物を等しく思いやる「仁」の心を忘れ、自分勝手な政治を行って、…そこで今回、志を同じくする者たちと相談し、まず人々を苦しめている役人どもを討ち、続いて、おごり高ぶっている大坂市中の金持ち商人たちを処罰するつもりである、…

オランダ風説書・別段風説書(p.205)

〔一七九四年〕フランス国臣下之者共徒党仕、国王并王子を弑し国中乱妨におよひ申候に付、阿蘭陀国其外近国よりも同所え押寄及合戦申候…

〔**一八四七年　別段**〕ロンドンより東印度え蒸気船にての渡海は…シユエスを堀切り大船の通路を開き候ハハ、甚便利に有之、此業を…目論見候由に御座候。

〔**一八五〇年　別段**〕諸州殊に欧羅巴洲より数千の人衆黄金を求る為め新角里吹伏爾尼亜に来り集れり…諸方の人雲集セるか故に、速に繁栄の地となるへき事疑なし…亜墨利加人は全世界に航海し…近日の風聞に据れは、日本にも到りて交易を為すの所存ありと云へり。

《『和蘭風説書集成 下』『オランダ別段風説書集成》

現代語訳

〔**一七九四年**〕フランスでは、国王と王子が殺され、国内が大混乱に陥ったため、オランダや周辺諸国が押し寄せて、戦争になった。…

〔**一八四七年　別段**〕ロンドンから東インドへ、蒸気船で航海する計画があり、さらにスエズを掘り割って大型船の通路を開けば、非常に便利になるため…その事業を計画しているという。

〔**一八五〇年　別段**〕アメリカのカリフォルニアに金を求めて、ヨーロッパをはじめ各地から数千人もの人々が集まっている…人々が集まっているため、急速に繁栄する土地になることは疑いない…アメリカ人は世界中を航海しており…近年の噂では、日本にも来て交易を行うつもりだと言われている。

異国船打払令(p.205)

…一体いきりすニ限らず、南蛮、西洋の儀は、御制禁邪教❶の国ニ候間、以来何れの浦方ニおゐても、異国船乗寄せ候を見受け候ハバ…一図ニ打払ひ、逃延び候ハバ…其分ニ差置き、若し押して上陸致し候ハバ、搦捕り、又は打留め候ても苦しからず候。…二念無く、打払ひを心掛け、図を失はざる❷様取計ひ候処、…

《『御触書天保集成』》

注　❶邪教：キリスト教　❷図を失はざる：時期を失わない

現代語訳

…イギリスに限らず、南蛮・西洋の国々は、禁じられたキリスト教の国であるため、今後は、どの港でも異国船が近づいてくるのを見つけたなら…ためらうことなく打ち払い…もし逃げ延びようとしても…さらに打ち払うこと。それでも強引に上陸しようとした場合には、捕らえても、あるいは撃ち殺しても差し支えない…いささかも迷うことなく、時機を逃さず打ち払うよう処置せよ、…

天保の薪水給与令(p.206)

異国船渡来の節、二念無く打払ひ申すべき旨、文政八年仰せ出され候❶。然る処当時万

事御改正にて、享保寛政の御政事に復せられ、何事によらず御仁政を施され度との有難き思召に候。右については、外国のものにても難風に逢ひ、漂流にて食物薪水を乞候迄に渡来候を、其の事情分らざるに、一図に打払い候ては、万国に対せられ候御処置とも思召されず候。…異国船と見受候はば、得と様子相糺し、食料薪水等乏しく帰帆成り難き趣候はば、望の品相応に与へ、帰帆致すべき旨申し諭し、尤上陸は致させ間敷候。

《『徳川禁令考』》

注 ❶文政八年仰せ出され候：一八二五年に出された異国船打払令のこと

現代語訳

異国船が来航した場合は、ためらわず打ち払うべきである、という命令が、文政八年に出されていた。しかし現在は、政治全般を改め、享保・寛政の政治に立ち返り、仁政を行いたいというありがたいお考えがある。そのため、外国人であっても、嵐に遭って漂流し、食料や薪、水を求めて来た場合に、事情を確かめずに一方的に打ち払うのは、国際的にも適切な対応とは言えない。今後は、異国船と見えた場合には事情をよく調べ、もし食料や薪水が不足して帰航できない様子であれば、必要な分を与え、帰るよう言い聞かせること。ただし、上陸は決して許してはならない。

来航したレザノフに対する幕府の回答（一八〇五年）(p.207)

…我国の商戸外国に往事をとどめ、外国の売船も…我国に来る事を許さず。…唐山❶・朝鮮・琉球・紅毛❷の往来することは、互市の利を必とするにあらず、来ることの久しき素より其謂れあるを以なり。其国の如きは、昔よりいまだ曾て信を通ぜし事なし。…深く我国に望み所あるも又切なるを知れり、然りといへども望み乞所の通信商の事は、重く爰に議すべからざるもの也、我国海外の諸国と通問せざること既に久し…爭か其国一价の故をもって、朝廷歴世の法を変ずべけんや。

《『通航一覧』》

注 ❶唐山：中国　❷紅毛：オランダ

現代語訳

…我が国の商人や船が外国へ行くことを禁止し、外国の商船も…我が国へ来ることも許さない。唐・朝鮮・琉球・オランダとの往来については、必ずしも貿易の利益だけを目的としているのではなく、古くから続いてきた由緒ある関係であるためである。その国については、昔から一度も正式に信義を通じたことがない。…その国が深く我が国に対して強い要望を抱いていることは承知しているが、そうであるからといって、通信や通商を望み求めることについて、軽々しくここで議論すべきではない。我が国が海外の諸国と文書や

交渉を交わさない状態は、すでに長く続いている。どうしてその国一国の事情のために、朝廷が代々守ってきた法を改めることができようか。